

**教育目標:** 自ら考え 判断できる人(確かな学力の定着)、心身ともにたくましい人(健やかな体の育成)、心豊かな思いやりのある人(豊かな心の醸成)、互いに協力し 創造できる人(輝く未来の創造)  
**目指す学校像:** 授業を通して互いに高め合える学校、生徒の人格と未来が尊重されている学校、校風「団結・克己・責任」を継承・発展する学校、大規模災害を想定した防災教育の充実が図られている学校  
**目指す生徒像:** 人として大切なこと、社会に出た時の基本を身に付けている生徒 超スマート社会 Society5.0に向けて、自ら学び、世界の平和を願い、国際社会に活躍できる生徒  
**目指す教師像:** 生徒に達成感を味わわせ、確かな学力・自己肯定感を育ませることのできる教師 必要に応じて、毅然とした態度で指導にあたることのできる教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	今後の課題	学校関係者評価記入欄
学校の居心地感	人権尊重の精神を基調とした教育活動を推進し、豊かな心を醸成する。	・より良い人間関係を築く力、協力して学級や学校の生活の充実・向上を図る力の育成	ペップトークを日常的に実践し、前向きな人間関係の形成を行う。アセスを実施し生徒の居心地感を把握する。	3	/	/	4	不登校生徒の数は減少したが、新たに不登校傾向が出ている生徒があり、SCやSSW、教育相談室等との連携を取りながら、個々の状況に応じた対応を行っていくことやペップトーク、アセスを継続、定着して行い、良い人間関係の構築を図っていくことが課題。	不登校生徒が減っているのは、学校側の努力の成果だと感じています。生徒の居心地感については9割近くが良いとのアンケート結果が出ている。ペップトーク等の方策により、よりよい人間関係の形成ができていると思います。今後も継続していきましょう。
		・「特別の教科 道徳」の授業内容の充実と評価の工夫	内容と共に評価方法を工夫し、自分の考えをもち、議論する道徳へと授業改善を行う。	3	/	/	4	意見を言える、発表できる力は今後、とても必要な力なので、ぜひ続けてほしい。道徳の評価方法については、多様な生徒に対応するための基準等の工夫が必要。	ペップトークと同様に道徳教育の充実により前向き感が高まると良い。他人の意見を傾聴でき、建設的に意見や考えをもてるといい。
学びに向かう力	各教科の見方・考え方を明確にして、確かな学力を定着し、健やかな体を育成する。	・生徒の探究的活動、主体的・対話的で深い学びの実現 ・読書習慣の定着による、学びの基礎となる読解力の向上	タブレット端末を活用した、主体的・対話的で深い学びへの授業改善を行う。	2	/	/	4	タブレット端末の活用が徐々に広まりつつあるが、校内研修などを通して学校全体で組織的な活用方法開発に取り組み、全職員が一定水準で活用できる状況づくりが課題。	ICTの活用が進んでいることを実感した。タブレット端末活用力がさらに高まることに期待する。PCを使うことが苦にならない先生方が増えることを望みます。都立高校でも一人1台端末が導入され、生徒のPC活用が求められます。
		・運動の日常化による体力・運動能力の向上	学校の図書館司書・司書教諭を活用し、読書活動推進のイベントを充実する。	—	/	/	—		
		・運動の日常化による体力・運動能力の向上	体育健康教育推進校の取組み及び年3回の体力テストの結果を工夫し運動の日常化を図る。	3	/	/	4	体力が低下している子供が増えている中、平均を上回った項目が多いので、ぜひ継続してほしい。運動が苦手な生徒に対する日常化に向けての、授業改善や工夫が必要。	運動会で、生徒の運動能力と取組みの素晴らしさを実感した。特に3年生ダンスには感動し、新しい体育教育の流れを感じた。元プロ野球選手や専門家の話は子供たちの刺激になっていると思います。
未来に向かう力	保護者・地域・関係機関と連携した取り組みを充実し、輝く未来を創造する力を育てる。	・地域に貢献しようとする態度、自治能力の育成	青少年健全育成北地区委員会、公民館、小学校と連携した各種取組みへの参加を推進する。	4	/	/	4	感染状況が沈静化し、地域行事への参観が可能になった。地域貢献意識は高いため、参加状況も増えるはずである。今年度は並木公民館との連携で9月に子ども祭りに部活単位で参加した。今も推進してほしい。	国分寺学の取組みに教職員が意欲的に取り組んでいる。「ゆでまんじゅうづくり」「すいとんづくり」は国分寺に対する愛着や関心を高めている。あいさつ運動や今年度は公民館祭りへの生徒参加もあり、地域との連携を楽しみにしている。
		・キャリア発達に関わる諸能力の向上	部活動、職場体験学習など指導を充実し、将来への見通しをもたせる。	3	/	/	4	今年度は職場体験が3年ぶりに実施される。訪問先の確保が課題の一つとなっている。地域人材を活用して達成感のある有意義な体験となるよう取り組んでほしい。	念願の職場体験が復活して、子供たちの楽しい雰囲気を感じました。理解ある事業所が増えることを期待します。コロナも5類となり、将来を見通したキャリア教育に期待しています。